

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
1	令和新政 代表 20番 三浦 章 予定日時 3月2日(月) 10:00~11:30	施政方針にもとづ く行財政運営につ いて	1 君津市「まち・ひと・しごと創生」総合 戦略について	まち・ひと・しごと創生法は、国がすべての自治体に対して地方人口ビジョンと総合戦略の策定を課し、「人口減少の歯止め」と「東京一極集中の是正」を目標として地方創生がスタートしました。第1期総合戦略を終えようとする現在どのように評価し、また来年度からスタートする第2期戦略ではどのように取り組まれるのか伺います。	19番 小倉 靖 幸
			(関連質問) 1 新たな総合計画の策定について	令和4年度までを計画期間としている総合計画について、令和2年度から着手し一年前倒しで策定すると施政方針でも述べられております。2年間かけて策定するものと理解しておりますが、具体的な策定スケジュール等について伺います。	
			(関連質問) 2 国土強靱化地域計画の策定について	地域が直面する大規模災害のリスクを踏まえ国土強靱化地域計画を策定するとしておりますが、この計画は、どのような位置づけで策定するのか、また、どのように策定を進めていくのか伺います。	
			(関連質問) 3 地域防災計画の見直しについて	施政方針においても、災害状況や災害対応を検証し国や県の計画との整合を図りながら地域防災計画を見直していくとしていますが、現時点での見直す視点と方向性について伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			2 財政運営の見通しについて	<p>昨年の台風により財政調整基金は大幅に減少しているうえ、鉄鋼関連企業の過去最高の赤字が報道されていますが、本市への影響と今後の見通しを伺います。</p>	
		人口減少に歯止めをかける施策について	1 君津インターチェンジ周辺の土地の有効活用について	<p>市の衰退につながる人口減少を食い止めるために宅地の供給が必要と考えます。本市は需要があるのに供給がないため、地価の上昇率が県内一となりました。君津インター至近の三直地区は宅地化の可能性があると考えますが、ご所見を伺います。</p>	
			(関連質問) 1 企業誘致について	<p>施政方針に「新たな企業立地の推進、企業誘致条例の改正も視野に」とあります。君津インターチェンジのある県道92号には市道が隣接しています。この市道をつかえると農地が県道と直接接することになり、接道要件を満たし企業用地での利用も可能になると考えますが、見解を伺います。</p>	16番 須永 和良
			(関連質問) 2 住宅取得に対する補助の公平性について	<p>施政方針に「空き家及び中古住宅を利活用し、市内の空き家を取得した方に対し、その費用の一部を補助する制度を創設」とありますが、なぜ新築を取得した方には補助を出さないのか、公平性にかけると思いますが、見解を伺います。</p>	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			2 ふるさと回帰支援センターの活用について	地方への移住を希望する人が頼りとするNPO法人ふる里回帰支援センターは、移住を受け入れる全国の自治体の情報が集まっています。本市も加入して移住受け入れを促進すべきと考えますがご所見を伺います。	
		災害に強いまちづくりについて	1 計画伐採（事前伐採）について	令和元年房総半島台風による長期の停電で多くの市民が耐えがたい生活を強いられました。長期の停電の主な原因は倒木による電線の破断であります。施政方針でも述べられていたように、被害を軽減させるために事前の計画的な伐採が必要と考えますが、見解を伺います。	
			2 情報の伝え方と危険性の認識について	昨年の台風時においては、停電や通信障害によって通信手段が断たれた市民が多く、連絡がとれない生活を余儀なくされました。通信手段が断たれる中でも市民が安全で安心して過ごせるようにするために取り組むべき課題について、どのように認識しているのか伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
		地域経済を活性化 させる戦略につい て	1 農業の振興について	全国に19,000を越える農業法人の誘致は耕作放棄地の活用や雇用創出、新規就農者の呼び込みなどに結びつく可能性があります。農業法人誘致のために積極的な働きかけをしていく必要があると考えますがご所見を伺います。また、市内農業者や企業の農業法人創設に対する支援についても伺います。	
			2 観光振興について	観光する側の目線に立てば市境は関係なく、魅力ある観光ルートであることが重要だと思えます。近隣市と連携する観光施策を強化していくべきと考えますが、現在の状況と今後の展開について見解を伺います。また、観光課がなくなった場合の影響についてもあわせて伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
		子どもたちが安心して学べる教育環境について	1 学校統合について	学校再編について、第1次実施プログラムの検証と、第2次実施プログラムの進捗、第3次実施プログラムまでの確実な実施について、見解と施策にかける想いを伺います。	
			2 小学校への教科担任制の導入について	中央教育審議会は、各教科を専門の教員が教える「教科担任制」について、2022年度をめどに小学校5,6年生に本格的に導入すべきだとする方針をとりまとめました。すでに先行して導入している自治体もありますが本市の見解を伺います。	
			(関連質問) 1 養育費の未払いから子供を救う施策について	施政方針に「誰もが安心して子育てができる環境を整える」とあるため、一つ提案させていただきます。離婚した家庭が養育費の未払いによって貧困に陥るケースが増えています。子供を貧困から救うため兵庫県明石市のように、市が養育費をいったん立て替えて払い、その後、市が求償権を行使し不払いの親に支払いを求めるという制度を導入してはどうでしょうか。見解を伺います。	16番 須永 和良
			(関連質問) 2 児童虐待の防止について	児童虐待の早期対応のためにも、児童相談所など関係機関との連携が重要であることは施政方針でも述べられていました。市内の児童虐待の現状と課題を伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
2	創政会 代表 15番 高橋 明 予定日時 3月2日(月) 13:00~14:30	防災対策について	1 災害時職員初動マニュアルの実効性について	令和元年9月から10月にかけて、本市を襲った台風15号、19号並びに10月25日の大雨では、強風、大雨、河川の氾濫という様々な災害に連続して見舞われるという、かつてない経験をし、市内では甚大な被害が発生しました。市では、災害の発生に際し、市民の生命、身体及び財産を守るために、職員一人ひとりが自主的に判断し行動することを目的に、災害時職員初動マニュアルを作成しております。この度の災害発生において、その災害時職員初動マニュアルが有効に機能したのか、それを十分検証し、次の災害に備えることが非常に重要であると考えますが、見解を伺うとともに、今後の初動体制の見直しについての考え方を伺います。	
			2 台風被害に対する支援制度の申請状況について	本市はいち早く国や県と共に各種支援制度を開始しましたが、一部損壊や半壊の判定を受けた市民からの応急修理や支援の申請が少なく、予算が執行できない状態です。また、農業支援においても、被災直後に市に連絡があった被害件数と比べ、申請数が少ないなど、被災した市民に支援が行き届いているのか懸念されます。支援の現状について伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			3 小糸川、小櫃川の洪水、浸水被害対策と情報発信について	<p>1 今回の台風も含め、大雨のたびに川の近くに住む住民は命の危険と不安にさらされています。特に小糸川は土砂の堆積で川幅は狭くなっており、繁茂する木や竹によってもさらに流れが阻害されています。市民の安全のためには土砂の浚渫や木や竹の伐採が緊急的に必要だと考えます。最近の台風や大雨による河川の氾濫等は、実際には何回起きているのでしょうか。また、そのことは小糸川河川整備計画にはどう位置付けられているのか伺います。関連して、本年は、国が進める総額7兆円の防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の最終年度となり、多くの市町村で取り組みが行われておりますが、本市の活用状況をお伺いします。</p> <p>2 台風や豪雨から命を守るためには、住民自らの行動に結びつく河川の情報提供やリスク情報の共有が必要です。国も設置しやすい河川監視カメラや水位計の設置を進めています。本市も県と協力し、大規模氾濫に備えた減災対策協議会などの枠組みを使い、河川監視カメラや水位計を設置することで、住民避難につながる河川情報の提供を強化すべきと考えますが、見解をお伺いします。</p>	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
		財政について	財政健全化の取り組みについて	本市の税収に大きくかかわる鉄鋼関連企業は世界的な競争の中で4,000億円を超える赤字決算となりました。今後、本市でも多額の施設やインフラの更新費用が見込まれます。財政調整基金をしっかりと積立て、できる限り取り崩さないこと、徴収率を向上させること、国や県の補助金を今まで以上に確保することなどの努力が必要です。しかしながら、現状はふるさと納税や消費税増額分などで漫然としのいでいる印象を受けます。さらに努力できる部分はあると考えますが、将来のためにどのような財政運営をしていくのかお伺いします。	
		第3次まちづくり実施計画について	1 計画の進ちょくと見直しの方向性について	一昨年11月の、石井市長就任の後、昨年7月に令和4年度までを計画期間とする第3次まちづくり実施計画が策定されました。この計画は、第1次、第2次計画と違い、各年度において必要な見直しを行う事とされており、先般、総合建設審議会において、その改訂内容が示されたところです。ついては、改めて、現在のまちづくり実施計画の進ちょく状況や、今後の見直しの方向性についてお伺いします。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			2 人事制度について	<p>第3次まちづくり実施計画では、持続可能な行財政基盤の構築を目指し、事務事業の見直し、効果的・計画的な人材育成、ICT等の活用による効率的な事務の遂行を掲げております。その中で、地方自治法及び地方公務員法の一部改正に伴い、本市においても、令和2年度から、会計年度任用職員制度が取り入れられることとなりました。もとより、本制度は、全国的に活用が図られている臨時・非常勤職員等について、その雇用形態の明確化や、同一労働同一賃金による適正な待遇の確保を目的としたものでありますが、現在見込まれている、会計年度任用職員の人数及びその雇用が必要となる理由について、本市の現状を伺います。また、本制度を導入することによる、本市としてのメリットについて、また、それによる財政負担の増及びその財源確保についてお伺いします。</p>	
			<p>(関連質問) 本庁舎整備について</p>	<p>本庁舎再整備あり方検討委員会では現状と課題について整理をしていると思いますが、本年度中に検討委員会では、どのような取りまとめを行うのかお伺いします。また、庁舎再整備案の打ち出しについて、来年度のスケジュールをお伺いします。</p>	14番 保坂好一

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			3 市街地整備・住環境整備について	<p>本計画では、市街地整備・住環境整備への取り組みとして、君津市都市計画マスタープランを指針とした土地利用の誘導を図るとしています。本市の市街地整備については、平成16年度に策定された、副次核整備基本構想において、内陸部の中枢を担う久留里地区を中心とする地域を副次核として位置づけ、臨海部の中心市街地とともに、整備を進めることとしております。今後、新たな総合計画の策定にも着手しようとする中で、副次核整備基本構想の取り組み状況についてお伺いします。</p>	
			4 公共交通網整備について	<p>高齢で車を運転できなくなった市民も少しずつ増え、乗り合い交通網の整備という石井市長の公約に年々期待が高まっています。上総、小櫃地区のデマンドタクシーは市民の暮らしの役に立っています。公約通り、清和地区、小糸地区、周南地区やその他市街地などでのデマンドタクシー等の乗り合い交通網計画は進んでいるのかお伺いします。</p>	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			5 農業振興について	<p>本市は、臨海部の工業地帯から内陸に進むと、JR君津駅を中心とする中心市街地が栄え、それをさらに進むと、豊かな田園風景が広がります。そうした本市にとって、農業振興は、非常に重要な施策であり、本年1月号の広報きみつにおいても、石井市長は、冒頭の年頭あいさつにおいて、「10年後に振り返ったときに、君津は農業や産業で元気に輝く地方都市になった。」と思える意味ある年にする決意であると述べられております。そこで伺いますが、第3次まちづくり実施計画では、農業振興のための施策の展開として、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 担い手の育成と収益性の高い農業の推進 (2) 農産物のブランド化と市内外への普及促進等 <p>が掲げられています。その目標を達成していくためには、農業経営の安定化、農作業の効率化によるコストの削減を実現し、担い手の確保による地域の活性化が必要であり、補助事業によるほ場再整備の促進こそが必要であると考えますが、見解をお伺いします。</p>	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			6 保育環境整備について	これまで地区ごとに、最低1園は公立保育園を維持するとしていた計画など、本市の保育環境整備について議会に報告をいただき進めてきたと理解しています。このたび、(仮称)貞元保育園の整備計画が報道されました。ここまでに至る経緯をお伺いします。	
			(関連質問) 新規保育園整備の考え方について	本市の保育環境整備を進める上での方向性について、お伺いします。また、新しい保育施設を作るとしたら、何を主体に考えて建物を作るお考えなのかお伺いします。	14番 保坂好一
		衛生センター整備 事業について	事業の進捗状況について	本市のし尿処理施設である君津市衛生センターについては、昭和48年の供用開始から45年以上が経過し、維持補修や運転管理に多額の経費を要していることから、新たな施設の整備を行うこととし、総合評価一般競争入札方式により施設整備事業者を選定する予定であると認識しております。昨年7月の議会全員協議会では、令和2年3月上旬に落札者が決定する予定であると報告がありましたが、順調に事業が進んでいるのか、進捗状況をお伺いします。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
		ごみ出しができない市民への支援について	高齢者等のごみ出し支援への本市の取り組みについて	国は、11月に自力でごみ出しができない高齢者などについて、その回収の委託や仕組みづくりに対して財政支援を行い、地方自治体の取り組みを支援することを発表しました。本市でもごみ出しに困っている市民が増えています。本市の取り組み状況をお伺いします。	
		消防団の充実強化について	処遇改善や負担軽減のための分団統合について	地域の人口減少に伴い、地域を守る消防団員の減少と在団期間の長期化が続いています。それぞれの分団によっては維持が困難なほど若者の減少に直面しています。また、国が求める消防団員の処遇改善や消防団予算の拡充も財政難の中で十分に進んでいません。消防団員の確保については現状では各分団に任されていますが、その事務と責任は消防本部にあります。小糸分署の建て替えて各地区の消防力の拠点整備が一段落した今こそ、地域に必要な消防力を適切に再配置する観点から、全市的な分団統合を進めるべきと考えます。団員の負担軽減を図り、国基準の団員報酬や出動手当、消防団運営に対する支援を実現するべきと考えますが、見解をお伺いします。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
		教育行政について	1 学校再編の進ちよくについて	学校再編基本計画にのっとり、第1次実施プログラムに続き、先日、第2次実施プログラムが決定されました。その第2次実施プログラムの決定に至るまでの経緯と今後の進め方、そして第3次実施プログラムの考え方について、あわせて伺います。また、こうした一連の再編を進める上で、教育現場の負担感についても見解を伺います。	
			2 コミュニティスクールについて	第2次実施プログラムにおいて、本年4月に開校予定の上総小櫃中学校区を、コミュニティスクールの拠点とすることとしています。広大な学区を有する上総・小櫃地区ですが、例えば、小櫃地区では長い歴史を持つ、ブラジル松柏学園及び大志万学院との姉妹校交流を昭和48年以来続けてきております。このような、地域ごとのこれまでのつながりと、統合後の非常に広い地域との連携について、どのような取り組みを進めようとしているのかお伺いします。	
			(関連質問) 部活動ガイドラインの成果と教職員の働き方改革について	本年度から実施されている、部活動ガイドラインですが、部活動の休養日や活動時間の制限を明確にし、子どもたちの健康管理はもちろんのこと、教職員の負担軽減に配慮した学校現場の働き方改革にも資するものと認識しています。導入して約1年になりますが、その成果と課題についてお伺いします。また、プールの集約化事業も進めているようですが、費用対効果や教職員の働き方改革の視点から期待される成果をお伺いします。	14番 保坂好一

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
3	公明党 代表 9番 野上慎治	希望と活力に満 ち、安心して暮ら せるまちづくりに ついて	1 新型コロナウイルス感染症対策について	新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民のみ なさんに不安を拡大しています。市では、新型コ ロナウイルス感染症対策本部を設置しましたが、 具体的にどのようなことに取り組まれるのか伺い ます。	
			2 第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」 総合戦略について	「まち」「ひと」「しごと」の3つの観点から 1期の取り組みを総括した上で、2期では、「ま ち」「ひと」「しごと」の3つの観点をどのよう に捉え、施策を展開されようとしているのか伺い ます。	
			3 君津まちづくりプロジェクトについて	君津まちづくりプロジェクトが始まりました。 多くの市民のみなさんが、傍聴に来られるなど、 関心は高いようですが、これまでの効果と今後の 展開、そして、このプロジェクトのゴールをどの ようにお考えなのか伺います。	
			4 高等学校との連携について	次の時代を担う若者の育成は、君津のまちづく りにおいて重要な課題です。まちづくりは、人づ くりです。大学がない本市においては、高校生と 地域のつながりを深め、地域で活躍する人材を育 成することが大切であると考えます。高等学校と の連携の現状および今後の構想について伺いま す。	
予定日時 3月2日(月) 14:45~16:15					

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
		地域経済の活性化 について	1 民間活力の育成と連携について	民間との連携強化は、君津の持続的発展に欠かせない要素です。総合戦略には「民間活力を最大限に引き出すため、規制緩和や税制面での優遇措置を検討」とありますが、具体的な取り組みと予想される効果について伺います。	
			2 農業活性化に向けた行政支援について	農産物の販売金額は、平成21年が約66億円、平成28年が約92億円と大きく伸ばすことができました。農業は君津の強みであり、その活性化は、今後のまちづくりの重要なポイントです。農業活性化に向けた今後の行政支援、特に農地集積・集約化に向けてどのように取り組まれるのか伺います。	
		ICT・IoT・ AIを活用したま ちづくりについて	1 行政事務負担の軽減と市民サービスの向上 について	人口減少及び財務収支の悪化により、今後、ICTやAIを活用し業務を効率化するとともに市民サービスを向上させることが大切と考えますが、具体的な取り組みについて伺います。	
			2 IoT活用推進部署の設置と職員の育成に ついて	1年遅れば、7年遅れると言われるIoTの活用ですが、その活用分野は、行政・産業・教育・福祉・医療などあらゆる分野に広がっています。その取り組みが、計画的、効果的に推進されるには、推進部署の設置と職員の育成が欠かせないと考えますが、見解を伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			3 市民向けICT講座の開設について	高齢者も含め多くの方がスマートフォンを持つ時代になりました。スマートフォンを有効に活用して、地域や行政との繋がりを広げたり、教養を身に付けたりして、生活を豊かにすることができます。ICT講座、特にスマートフォンの活用講座の開設が必要であると考えますが見解を伺います。	
		未来っ子の健やかな成長を育む環境整備について	1 キッズゾーンの設定と整備について	内閣府と厚生労働省は、昨年11月に、保育施設園児の安全を確保するための「キッズゾーン」設定推進の通達を出しました。これは、自動車の運転手等に注意喚起をするため、保育施設を中心に原則500mの範囲で設置するものです。キッズゾーンの設置ならびにキッズガードの配置について、本市の現状と今後の計画について伺います。	
			2 子どもたちの居場所づくりについて	地域に愛着を持つ子どもたちの育成は、持続可能なまちづくりの重要な課題です。しかし、子供会がなくなったり、祭りなど地域行事に関わる子どもたちが減ったりと地域と子どもたちの結びつきが弱くなっています。地域と子どもたちをつなぐ取り組みについて伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			3 学習環境整備について	国は令和5年度までに児童・生徒一人1台の端末を整備することなどを含む「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」を閣議決定しました。学校内にLANが設置され、子ども一人一人がPCを持てば、英語学習やプログラミング学習での活用や支援を必要とする子どもたちへのメリット等が考えられますが、視力の低下や漢字力の低下などのデメリットもあります。本市の対応について伺います。	
		高齢化社会に向けた助け合いの拡大について	1 フレイル予防の推進について	令和元年度版高齢社会白書によると、高齢者のうち要支援・要介護と認定された人の割合は、65～74歳が4.3%なのに対し、75歳以上では32.1%と約7倍に増えています。厚生労働省は、加齢に伴い筋力や心身の活力が衰え、介護が必要になる一歩手前の虚弱状態、いわゆる「フレイル」の人を把握するため、75歳以上を対象にした新たな健診を令和2年度から始めます。本市のフレイル予防の取り組みについて伺います。	
			2 生活支援体制の構築について	ひとり暮らしや高齢者のみ世帯等、日常活動上の軽度の支援を必要とする方の増加に伴い、地域ニーズの掘り起こしやサービスの発掘をすべく、平成29年度に第1層、令和元年度からは第2層に生活支援コーディネーターを配置し、取り組まれています。しかし、この3年の間にも支援を必要とする方は増えています。体制の構築は急務です。生活支援体制整備事業の進ちょく状況及び今後の計画について伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			3 高齢者への虐待の実態と撲滅について	平成30年度に千葉県内の家庭内で虐待を受けた高齢者は881人で、前年度と比べて44人増え、調査を始めた平成18年度以降最も多かったことが県のまとめで分かりました。介護施設職員らによる虐待が確認された高齢者も43人と大幅に増加しています。そこで本市における実態と未然防止や早期発見等の体制について伺います。	
			(関連質問) 1 認知症の早期発見と支え合いについて	65歳以上の5人に1人が認知症といわれ、年々増え続けています。2015年に推計で約525万人であったものが、2025年には推計で700万人を突破すると見込まれています。認知症は、今や誰でも発症する可能性があり、誰もが介護者となり得るため、「共生」と「予防」の認知症施策の推進は極めて重要です。本市の取り組みについて伺います。	8番 佐藤葉子
			(関連質問) 2 高齢者のごみ出し支援について	ひとり暮らしや高齢者のみ世帯が増える中、自力でごみの収集場所に運べなくなる問題が深刻化しています。全国で支援制度のある自治体は2割強にとどまっており、総務省はこのほど支援制度を導入する自治体を財政面で後押しする方針を表明しました。環境省も先進事例をまとめたガイドラインの策定に乗り出すなど、国は本腰を入れ始めました。本市におけるごみ出し支援の取り組みについて伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
		東京2020オリンピック・パラリンピックを生かした取り組みについて	1 市民の国際交流意識の醸成について	オリンピック・パラリンピックの開催は、市民のみなさんの国際交流意識の醸成を促すまたとない機会です。効果を高めるためには、行政のアナウンスだけでなく国際交流協会や商工会議所等との連携が必要と考えますが、見解を伺います。	
			2 インバウンド観光について	オリンピック・パラリンピックには、多くの方々が来日されます。インバウンド観光推進の観点から、どのようなことに取り組みられるのか見解を伺います。	
			(関連質問) 1 障がい者スポーツの体験学習について	パラリンピック代表選手に廣瀬隆喜選手が内定しました。廣瀬選手を応援するだけでなく、障がい者スポーツの周知・発展、そして、人々が共に生きる共生社会をつくるために、障がい者スポーツの様々な体験学習の場が必要だと考えますが、見解を伺います。	5番 高橋健治
			(関連質問) 2 オリンピック・パラリンピックのパブリックビューイングについて	パブリックビューイングは、競技会場以外で競技を観戦し、大会の臨場感や会場での一体感を味わうことが出来る場所となります。感動を共有し、君津市民としての一体感を味わうことは、郷土愛の醸成につながると考えますが、見解を伺います。	
		人に寄り添った就業支援の強化について	地方版ハローワークの設置について	人と仕事をうまくマッチングさせることは、個人にとっても企業にとっても、地域にとっても有意義なことです。今年度、地方版ハローワークの設置が予定されていますが、どのような特徴を持ったハローワークにする考えなのか伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
4	きみつ未来 代表 21番 磯貝 清	石井市長の選挙公 約について	1 基本姿勢について	対話する市政として、地域ごとに開催する「きみつ未来会議」と市民が主役の市政を実現するとされていますが、基本姿勢に対する自己評価と課題について伺います。	
			2 まちづくり実施計画との整合について	石井市長が掲げられた、きみつ元気プラン10本柱、68項目の政策が本市のまちづくり実施計画にどのように反映されているのか伺います。	
			3 かずさ4市一体の経済圏域の確立について	近隣市との合併についての必要性と是非について伺います。また、中核市としての要件である市民20万人を想定した場合、2市、あるいは3市での合併についての考え方を伺います。さらには、市長に就任されて以降、近隣市のトップリーダーとの間で話し合いが持たれたのか、今後話し合う考えがあるのか伺います。	
		令和2年度施政方針について	1 新たな総合計画の策定について	総合計画の目的は市長が表明された通り、より豊かな市民生活の実現にほかなりません。「君津に住みたい」「君津に住んでよかった」「これからも君津に住み続けたい」と思っただけのまちづくり、「市民満足度」の高いまちにしていくことが重要であり、その答えは市民の中にあるとしています。また、市長はそのためにより計画策定の過程において、市民の声を聴き「市民とともに作る君津の未来」といえる総合計画にしていくとしておりますが、その戦略策定・実施内容について伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			2 市政運営の基本的な考え方について	<p>1 「災害からの早期の復旧・復興及び真に災害に強いまちづくりに取り組みます」 今回の災害状況や災害対応を検証の上、教訓や課題を整理し、国や県との整合を考慮しながら、大規模自然災害のリスク等を踏まえた国土強靱化地域計画を新たに策定するという方針に対し、具体的な内容と現在の国や県との対応方法について、どのような策定スケジュールで臨もうとしているのか伺います。</p> <p>2 「転入促進と転出抑制で人口減少に歯止めをかけます」 施政方針では各種施策のより一層の充実を図るとともに、施策横断的な取り組みを推進していくとしておりますが、具体的な取り組み内容について伺います。また、定住を促進するうえでの企業誘致条例改正の方向性、空き家バンク制度の充実と空き家の利用を希望する方とのマッチング、交通利便性の向上にむけた住民との協働による交通の構築についての考え方やバス路線の新規路線開設等について伺います。</p>	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
				<p>3 「君津の水と緑を活かしたまちづくりを推進します」 施政方針では観光客を増加させ、さらなる交流人口を獲得するために、本市の魅力を実効的に伝えるための情報発信やおもてなし目線での環境整備を進めていく必要があるとしております。本市の観光資源を広くPRし、知名度アップ及び集客力向上にむけた具体的な内容や活動があるのか、さらには近隣市に見られるような観光大使任命の考えはないのか伺います。</p> <p>4 「子育て支援を充実させ、「君津で産んで良かった」と言われるまちを目指します」 君津市保育環境整備の全体像と公共施設再配置計画において、検討される年次との整合性について伺います。</p> <p>5 「教育環境を充実させ、いくつでも誰でも何度でも、学びなおしを支援します」 学校施設の個別施設計画（長寿命化計画）の老朽化対策と防災機能強化の視点での全体像について伺います。また、普通教室の空調機整備と関連した施設整備の考え方を伺います。</p>	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
				<p>6 「老朽化が進む公共施設の質・量・財政負担の最適化を図ります」</p> <p>市長は市民との対話等を通して地域の実情や市民ニーズの変化を的確に捉え、複合化、統廃合などに集中的に取り組んでいくこととしており、「君津まちづくりプロジェクト」で得られる意見を参考として公共施設の再配置に係る全体的な方針を定め、個別施設計画の策定を進めるとともに、公共施設の再配置プランを策定していくこととしておりますが、社会教育施設の再整備基本計画で明確となっていたスケジュールや再整備の内容、今後の管理運営の方向性について伺います。</p> <p>さらには、学校再編実施プログラムとの整合性、君津市総合計画を推進するための戦略である第2次君津市経営改革大綱との関わりについて伺います。あわせて指定管理者制度により管理運営が行われている施設のあり方について、行政としてどのような問題意識をもっているのか伺います。また、君津市本庁舎の再整備に係るあり方検討委員会における今日までの検討経緯についても伺います。</p>	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			3 予算案の概要について	資産と負債から見る貸借対照表、現金の出入りから見る資金収支計算書、現代世代の負担額の増減をみる純資産変動計算書、使ったお金に着目する行政コスト計算書という財務4表から見る君津市の財政状況について、ここ数年のトレンドについて伺います。あわせて受益者負担比率の近隣市あるいは人口規模が近似している団体との比較についても伺います。	
		石井市長の政治的判断を伴うリーダーシップについて	1 特別職の指定について	今日の行政を取り巻く経済状況や少子高齢化社会のもとでの多様化する市民ニーズに的確に答え、「市民満足度」の高いまちにするために、市長の補佐役としての政策監の登用が必要と考えますが、見解を伺います。	
			2 君津版の成長戦略について	「希望に満ちた君津の未来」を共に描き、創っていくためには、市長は職員との対話の機会を強化して文字通りどのような君津市にしていくのかという理念を明確に示さなければ、職員の意識改革は起こりません。意識改革が起こらなければ行動にはつながりません。どのような君津版成長戦略をお持ちなのか見解を伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
5	かがやき君津 代表 11番 船田兼司 予定日時 3月3日(火) 13:00~14:30	施政方針について	1 災害からの早期の復旧・復興及び真に災害に強いまちづくりについて	令和元年台風15号そして、その後の一連の災害で被災された方々への支援について伺う。また、地域防災計画の見直しと、新たに策定する国土強靱化地域計画について伺う。	
			2 転入促進と転出抑制による人口減少の歯止め施策について	転入促進と転出抑制により、人口減少に歯止めをかけられるよう、各種施策のより一層の充実を図るとともに、施策横断的な取り組みを推進しているが、具体的な施策について伺う。	
			(関連質問) 公共交通の空白地帯解消の施策について	定住を促進する上で通勤通学者等の交通利便性の確保は重要である。本市の中山間地域に多く点在する公共交通の空白地帯解消のため、平成29年度より実施しているさまざまな調査研究の成果に関し、今後の方向性と取り組みについて伺う。	10番 奈良輪政五
			3 君津の水と緑を活かしたまちづくりの推進について	1 産業廃棄物最終処分場などによる環境への影響が懸念されているが、現状と本市の対応について伺う。 2 地域の実情に応じた農地の集積・集約化を図るなど、担い手の育成と収益性の高い農業の推進について伺う。あわせて有害鳥獣対策について本市の取り組みを伺う。 3 君津らしさを活かした観光振興の推進について伺う。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			4 子育て支援を充実させ、「君津で産んで良かった」と言われるまちについて	平成27年10月に「保育環境整備に関する基本方針」が策定され、これまで各園の個別整備方針案が報告されてきたが、これまでの取り組みを整理する意味で、「保育環境整備の全体像」による今後の進め方について伺う。	
			(関連質問) 中山間地域における子育て支援について	今般、待機児童の解消、老朽化した施設整備の観点から、待望していた保育環境整備の全体像が示されました。清和地区の子育て支援について、保育園整備はいつ頃具体化するのか、また、かねてから要望があった学童保育の立ち上げ等への支援について伺う。	10番 奈良輪 政 五
			5 教育環境を充実させ、いくつでも誰でも何度でも、学びなおしの支援について	学校の適正規模・適正配置及び時代の変化や地域の特性を見据えた、新しいタイプの学校への転換などを視野に入れた学校再編について伺う。	
			(関連質問) 社会教育施設の再整備について	教育委員会では、平成30年度に「君津市社会教育施設の再整備基本計画」を策定し、次年度には、校舎跡施設を活用した清和公民館の再整備を主とした「第1期プラン」を作り、早期に事業を進めたいとしていたが、現在の状況を伺う。	10番 奈良輪 政 五

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(代表質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	関連質問議員
			6 老朽化が進む公共施設の質・量・財政負担の最適化について	1 持続可能な行財政基盤を構築するため、事務事業の見直し、内部管理経費の縮減、受益者負担の適正化など経営改革の取り組みについて伺う。 2 公共施設等の見直しを強力に推進し、公共施設の質・量・財政負担の最適化を図る取り組みについて伺う。また、災害対策本部設置場所としての耐震性能不足や設備の老朽化が課題となっている本庁舎の再整備について伺う。	
		総合計画見直しについて	目指すべき将来像について	君津が目指すべき将来像を明確にし、実現するための総合計画を1年前倒しし、市制施行50周年の令和3年度に策定するとしているが、なぜ総合計画の変更を決意するに至ったかを伺う。あわせて、策定の方向性とプロセスについて伺う。	
		都市計画について	土地利用の推進とインフラ整備について	中心市街地や君津インターチェンジ周辺、貞元・中富地域、小櫃地域などの土地利用の推進について伺う。また、道路、トンネルなど社会インフラの整備、長寿命化対策について伺う。	
		広域連携について	近隣市との連携強化について	行政事務の広域処理や既存施設の共同利用など、スケールメリットを活かし、多様な住民ニーズに対応する取り組みについて伺う。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
1	4番 村上幸人 予定日時 3月3日(火) 14:45～15:45	自治会について	自治会の役割とあり方について	<p>1 本市には208の自治会があり地域のコミュニティの中心となって活動していますが、実際、防犯、防災は自治会に加入していなくても、地域の共助という形でやらなければいけませんし、市もやらなければならないことです。そこで、改めて自治会の役割と課題をお聞きします。</p> <p>2 どの自治会でも現在、高齢化により自治会を脱退する方、負担軽減のために自治会に入らない方と年々加入率が減少しています。自治会に加入しなくても、生活は成り立ちます。地域の中心としての自治会のメリットを宣伝するとともに新しく自治会のあり方を検討していくべきだと考えますが、今後のあり方について、見解をお聞きします。</p>
		防災について	1 自主防災組織について	本市の自主防災組織は、その多くが自治会で組織されており、平常時の活動として、防災知識の普及・啓発、地域内の安全点検、防災訓練を実施しています。しかし、昨年災害時には、自主防災組織の役員は、自治会の役員でもあるため、市政協力員としての活動がメインとなり、十分な動きがとれなかった地域もありました。今後、自主防災組織の活動に際し、何を優先順位にして、どのように活動していくべきか見解をお聞きします。
			2 備蓄倉庫について	昨年の災害時には、活用が図られなかった備蓄倉庫が多くありました。これを効率的に利用できれば市民の負担が軽減できたのではないかと考えます。備蓄倉庫の利用のあり方について、見直しが必要と思われませんが、見解をお聞きします。
			3 今後の災害について	今後起こりうる災害に対応するため、地域防災計画の見直しを進めると伺っておりますが、今後、想定外という言葉がでないように準備が必要です。避難所開設のあり方も工夫できると考えますが、見解をお聞きします。

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		スポーツ行政について	1 君津市スポーツ推進計画について	本市では、スポーツ推進計画を策定し、7年の計画期間中、4年が経ちました。「する」「観る」「支える」との基本施策に対して、市はどのようなことに取り組んだのか伺います。
			2 運動施設の利用に係る利便性の向上について	スポーツ広場や学校等、利用できる施設の空き情報をホームページで公表するなど、利便性の向上に資する取り組みが必要と考えますが、見解を伺います。
			3 今後のスポーツ行政のあり方について	<p>1 スポーツは、すでに学校教育の域を超えております。企画も含め経済の視点も必要です。他の行政では、スポーツに特化した組織を設置し、トップアスリートを育てる施策を行っています。今後、教育から独立した専門組織にてトータル的にスポーツを盛り上げていただきたいと考えますが、見解をお聞きします。</p> <p>2 今年は、オリンピック・パラリンピックが開催されます。市内出身の選手も参加が予定されており、また、本市はニュージーランドのホストタウンともなりました。オリンピック・パラリンピックの応援に関し、パブリックビューイングをはじめ様々な応援手法が考えられますが、市の考える施策についてお聞きします。</p>

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		景観整備について	街路・公園の樹木の整備について	<p>1 昨年の災害において、多くの街路や公園で倒木がありました。撤去作業が進んでいますが、今後の景観を配慮し、どのように復旧させていくのかお聞きします。</p> <p>2 ソメイヨシノの寿命は60年とされており、災害時に倒木したソメイヨシノは幹中心部の腐食がかなり進んだ状況でした。次世代へ引き継ぐ景観として、すでに老木となっているソメイヨシノを更新すべきと考えますが、見解をお聞きします。</p>
		市長の政治姿勢について	新井総合施設株式会社君津環境整備センターについて	<p>新井総合施設（株）君津環境整備センターについて、このような最終処分場は、必ずどこかになければいけない施設だと考えますが、小櫃川水系に影響を与えかねないことが問題であると認識しています。現在、県との折衝と裁判の行方を注視している状況とのことですが、「第3期増設事業を中止させる」と述べていた市長の「市民の安全と安心のため」の見解についてお聞きします。</p>

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
2	13番 下田 剣吾 予定日時 3月4日(水) 10:00~11:00	市民の命を守る防 災対策について	1 台風・大雨の市民の被害と支援について	去年の台風・大雨について、市は災害でなくなった方はいないと発表していますが、上総地区では屋根の修理をしようとした男性がなくなったと聞いています。また、貞元地区の高齢者施設で停電による熱中症でなくなられた方もいらっしゃいました。また、小糸地区では長期停電中に火災が起き、女性がなくなりました。こうした状況を市はどうか把握していますか、できることはなかったのでしょうか、お聞きします。また、支援いただいた民間企業への支払いはあったのかお聞きします。
			2 市民への支援策について	住宅の修理や解体、また農業や中小企業への支援も本格化し、本市が発表した支援も内容は充実していますし、他市に引けを取らないと考えます。一方で支援策について知る機会は紙やインターネットの広報が中心で、支援の説明会もほとんど開かれていません。高齢で運転できずに、市役所まで行くことができない方もいます。災害に関する支援制度の中で、申請数が少なかった事例をお聞きします。
			3 小糸川、三島ダムの安全対策について	小糸川とその上流にある三島ダムを安全にすることが周辺住民の重要な安全対策だと考えます。国の国土強靱化の手厚い支援メニューなどを活用し、できる限り早く対策工事を行うべきです。また、三島ダムについては農業者の負担が大きくなるように軽減すべきと考えますが、見解をお聞きします。
			4 傾斜地や住宅擁壁の防災対策について	大雨だけでなく、大地震を想定すると、傾斜地や老朽化した住宅の擁壁が崩れ、多くの被害が出るのが予測されます。国の補助がある危険度調査や対策工事を行っているのでしょうか。また、高坂地区と隣接する陽光台地区の擁壁は老朽化が進んでおり、災害時には両地区の住民に大きな被害が予測されます。危険度と対策をどう考えているのかお聞きします。

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		市長公約について	1 公約の着手・実現と女性活躍について	石井市長の改革も進んでおります。就任時に既にあった予算・事業を除いて、選挙で掲げた公約を現時点で、予算化、事業化した着手率と、既の実現した実現率をそれぞれお聞かせください。また、女性活躍への市長のお考えをお聞きします。
			2 公約・乗り合い交通網の整備について	小糸、清和地区での市民参加のワークショップや日本大学の研究の交通政策の柱は君津駅直通バスの整備でした。過去、議会はどう答弁し、実現できたのかお聞きします。
		市役所のムダをなくし改革を進めるために	1 随意契約と行政改革の未達成について	市民対話推進事業の契約金額は、担当者や外部専門家が本市に実際に来られた回数あたりにすると、どれくらいの金額になるのかお聞かせください。また、市民と約束した行政改革40項目のうち、平成30年度末時点で12項目しか達成できておりません。達成できなかった場合、その原因と責任をどう考えるのかお聞きします。
			2 市への損害賠償請求について	過去10年の市に対する損害賠償請求の件数、総額と、その原因を予算不足、点検不足などどのように分析しているのかお聞きします。
			3 市有地の活用について	旧亀山、あけぼの保育園跡地、旧外箕輪独身寮などは、どう活用されているのかお聞きします。また旧香木原小は有害鳥獣対策を担う民間企業が「猟師工房ランド」として活用しています。今後どのように支援していくのかお聞きします。
			4 ナッジの活用について	各種検診や受診の勧奨に厚生労働省の勧めるナッジをどう活用しているのかお聞きします。

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		消防政策について	消防団支援と待遇改善について	<p>国のルールに基づき、回数に応じた支給となった出動手当について、本年の平均支給額と活動中のケガの状況、また各種改善状況をお聞きします。</p> <p>また、分団統合により、団員の負担軽減や待遇改善を図る方針には賛同しますが、その重要な主体でもあり、火災時や訓練の中心となっている、各地区を統括する支団に対して運営交付金をいくら支給しているか、また、自己負担についてお聞きします。</p> <p>また、本市は大地震などの災害に備えて老朽化した消防団機庫の建て替えを進めてきましたが、今回の台風で壊れた機庫を放置したり、昨年度導入した消防車両に初期不良があるなど、大変困っているという話があります。状況をお聞きします。</p>
		交通安全について	1 高齢者の運転支援について	<p>国は高齢者の運転の安全性向上を図るために、踏み間違い防止装置の取り付けなどに補助を行い、あわせて多くの自治体でも補助を行っています。本市も支援すべきと考えますが、見解をお聞きします。</p>
			2 道路照明について	<p>本市から木更津市への国道は通学や通勤などで多くの市民が利用しますが、照明が設置されていません。また小糸地区も照明が設置されていない区間があります。市民の安全のためにも照明の設置が必要だと考えますが、見解をお聞きします。</p>

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
3	18番 三浦道雄 予定日時 3月4日(水) 11:15~12:15	施政方針について	市長の政治姿勢について	<p>1 立憲主義を否定する安倍首相は憲法第9条改憲を声高に主張しています。国民消費が落ち込んでいる中、消費税率10%への増税を強行しました。「市民との対話・市民が主役のまちづくり」を標榜する石井市長は安倍首相をどのように捉えているのか認識を伺います。</p> <p>2 2月18日、石井市長は施政方針で「6つの重点施策」を述べられました。「6つの重点施策」内容は歓迎できるものがある一方、本当に出来るのか疑問に思う施策内容もありますので「6つの重点施策」を実施する上で、被災者支援などを含む事業への決意を伺います。</p> <p>3 木更津駐屯地へのオスプレイ暫定配備問題に一言も触れなかったのは何故か、見解を伺います。</p>
		社会保障制度の拡充について	誰もが安心して医療や介護サービスが享受できる制度の充実について	<p>1 協会けんぽ等と比較して、高い国民健康保険税の引き下げは喫緊の課題です。全国知事会等は国に対し、市町村国保への公費1兆円負担増を求めています。その主な内容について認識を伺います。</p> <p>2 介護保険制度では3年に1度の見直しが行われます。制度が発足して20年が経過しますが、その都度介護保険料は増額します。サービス内容が縮小したり、公助中心の国の制度なのに共助、自助へと丸投げされています。保険あって介護なしと言われる所以であります。いざと言う時にだれでも安心して介護サービスが享受できる制度でなければ「保険」に値しません。見解を伺います。</p>

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		教育行政について	1 学校再編・統廃合計画について	<p>1 上総・小櫃地区では4つの中学校を1箇所統合、3つの小学校を1つに統合する、いわゆる学校再編・統廃合が進められています。令和2年4月から4つの中学校が1つになり小櫃中学校を使用校舎として、上総小櫃中学校が開校します。学校が廃校されてしまう地域住民は遠距離通学になるため見直しを求め、統合校の中央部に新しい学校を建設することを求めてきました。なぜ、老朽化の著しい学校を使うのか。なぜ、かくも長距離の学校に通わせるのか。明快な答弁をお願いします。</p> <p>2 長い歴史、100年続いた小・中学校が閉校することについて、教育現場にいた石井市長はどの様に捉えているのか、見解をお聞かせ下さい。</p> <p>3 その上でお聞きしますが、令和3年4月からは坂畑小、松丘小が閉校します。小学校も中学校も地域からなくなります。蔵玉小学校は閉校記念式典を行いました。坂畑小・亀山中、松丘小・松丘中、久留里中の閉校記念式典を市主催で実施しない理由を納得いくように答弁して下さい。</p>

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 学校給食共同調理場の運営状況について	<p>今年度4月から供用開始している小糸地先の君津市学校給食共同調理場は、建設事業計画が立ち上がってから、10年もの歳月が経過してやっとできた施設であります。本市より後で計画された袖ヶ浦市の給食センターは2年程度の期間で約20億円の総事業費で完成しています。本市の給食センターより充実しているためか「異物混入」など苦情や業者等からの不平・不満は聞こえてきません。本市の学校給食共同調理場の運営は順調に推移しているのでしょうか、状況を伺います。</p>
		環境行政について	新井総合施設株式会社の動向について	<p>新井総合施設株式会社の産業廃棄物最終処分場の第3期増設事業が着々と進められています。今年になってから、第2期処分場に搬入されている1日あたりのダンプの搬入台数、台風被害への同社の対応など、市が承知している情報をお聞かせ下さい。</p>

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
4	2番 宇野晋平 予定日時 3月4日(水) 13:15~14:15	経済対策について	景気減退への対応について	内閣府が発表した「昨年10月から12月のGDP成長率」はマイナス6.3%でした。今後、消費税増税等の悪影響にいかに対応していくのか、市の経済対策について伺います。
		疫病対策について	コロナウイルスについて	新型コロナウイルスの感染が拡大しています。市民の生命と健康を守るための施策について伺います。
		災害対策について	1 停電対策について	1 昨年9月9日に本市を襲った台風15号による停電被害の状況をどのように把握しているか伺います。 2 電源喪失により生命維持に支障をきたす要支援者が多い施設の把握状況と、今後のそれらの施設に対する支援策について伺います。 3 停電被害の予防および低減のために市ができる方策について伺います。
			2 交通網遮断の防止について	今後、首都直下型地震の発生を想定する時、1. 街路樹の見直し、2. 電柱の地中化、3. 橋の耐震化、4. 木造建築物の耐震化など、減災のためのインフラ整備の必要性について、見解を伺います。
			3 災害時の組織体制について	災害時において市民の生命財産を保全するために、行政内部及び行政と市内団体との連絡系統を確立すべきと考えますが、見解を伺います。
			4 地域自主防災組織について	地域防災力向上のための自主防災組織のあり方について、市の見解を伺います。
			5 要支援者への支援体制について	台風15号発生時における要支援者への支援について、安否確認が行われた日程と支援主体を伺います。
6 防災の日の制定について	市民の災害に対する意識の向上を図るため、9月9日を本市の防災の日に制定し、あわせて、市職員の定期的な防災訓練の実施日としてはどうかと考えますが、見解を伺います。			

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		高齢者福祉について	地域包括ケアシステムについて	高齢化の進む本市において、高齢者が住み慣れた地域で、その地域の特性に応じ、その人らしい生活が継続できることは非常に重要なことと考えます。本市における地域包括ケアシステムの現状と今後の方針について伺います。
		子育て支援の充実について	1 登下校時の安全の確保について	登下校時に多数の児童・生徒が通行する歩道を整備することにより、交通事故を未然に防ぐことができると考えますが、歩道整備に関する市の方針について伺います。
	2 待機児童の解消について		待機児童の解消は、子育て施策に関する喫緊の課題の一つであると認識しています。待機児童を解消するための市の方針について伺います。	
	3 子だから祝金について		市では現在、市民の第3子以上の出産を奨励祝福して、子だから祝金を支給しています。改めてその意義について、また今後の事業方針について伺います。	
	4 給食費について		給食費については、小学校で日額250円、中学校で日額310円を各家庭から徴収しています。子育て世代を強力に応援する視点から、また、給食費を回収する学校側の負担軽減の視点から、無償化してはどうかと考えますが、市の見解を伺います。	

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
5	3番 鈴木 高大 予定日時 3月4日(水) 14:30~15:30	道路・河川整備について	1 道路の適切な管理と安全対策について	道路、歩道の適切な管理は、安全安心な生活を送る上で不可欠な要素と考えます。道路等の管理瑕疵による被害も散見されますが、道路・歩道の適切な管理について、どのようにお考えでしょうか、その方針について伺います。また、交差点付近の車ガードの設置、横断歩道の整備、街路灯の設置について、整備状況と整備方針について伺います。
			2 河川整備について	近年の集中豪雨、台風などによる河川の増水対策と水位監視設備の状況について伺います。
		誰もが外出しやすいまちづくりについて	1 小糸地区の公共交通について	通勤、通学、通院、買い物が気軽にできなければ地域の活性化にはつながらないと考えます。そこで、小糸地区の公共交通に係る現在の状況と今後の展開について伺います。
			2 鉄道とバスの運行体制の充実について	君津駅から短時間で東京駅、羽田空港まで移動できる立地条件は、通勤、通学者の利用増が見込める環境です。高速バス支援事業など積極性を示されている一方、路線バスのアクセスとJRダイヤとの調整、君津駅南口ロータリーの整備が必要と考えますが、見解を伺います。
		子育て支援について	1 君津市子育て世代包括支援センターについて	令和元年10月から子育て世代包括支援センターが開設されていますが、その利用に関し周知方法及び利用状況、並びに地域コミュニティとの連携について伺います。
			2 子ども医療費の助成について	子ども医療費助成事業に関し、制度開始から現在までの利用状況の推移及び対象者の拡大等今後の事業展開について伺います。

令和2年第1回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 保育環境の充実について	園児利用のトイレは、教室と通じているため特有のにおいがする中で食事が行われています。また、大人用トイレについても、通常はもとより行事開催時には妊婦の保護者の利用もある中で、古いトイレは不便との話も伺っています。園舎自体の老朽化が著しい中、園舎の1日も早い改修とトイレ環境の改善が望まれますが、見解を伺います。
		居住環境における有害獣被害について	今後の方針について	本市の基幹産業である農業に関し、多大な有害獣被害が生じていることは周知の事実であります。また、居住敷地内でも、有害獣による玄関先での地面の掘り返し被害や通学路においても猿集団が出没するなどの被害も生じております。荒廃した山林や田畑等から被害が拡大しているものと考えますが、今後の有害獣被害に対する方針について、見解を伺います。
		市民サービスの向上について	市庁舎出入口の整備について	駐車場、駐輪場を利用される来庁者、特にお子様連れ、車椅子利用の方などにとって玄関口までのアプローチは、特に降雨などの状況で不便を感じます。安全に来庁できるように通路テントの設置などサービス向上に向けた取り組みが必要と考えますが、見解を伺います。
		有事における伝達方法について	災害時の組織指示系統について	災害時のガバナンス統制に関し、行政内部での各部署間の連絡手順と市民への伝達方法について伺います。また、広い市域を抱える本市にとって、特に災害時には地域ごとに職員を配置し、情報の収集と伝達を行うことが有効と考えますが、見解を伺います。